



# AA 通信

2007年(平成19年)7月1日 第3号

東京都渋谷区代々木2丁目23番1号  
ニューステイトメナー865号室 (〒151-0053)  
Tel 03-6240-2300 Fax 03-6240-2301  
E-mail : info@asset-adv.co.jp



おかげ様で、(株)アセット・アドバイザーは設立一周年を迎えることができました。これも偏に、皆様方のご厚情の賜物であると、心より御礼申し上げます。これからも、お客様の「不動産」と「相続」の問題解決に、全力を尽くして参りたいと思います。今後につきましても、より一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

## ☆☆☆ 通信トピックス ☆☆☆

### 【個人信託について】～思いを伝えるための新たな手法～

前回に続いて「信託」の話です。「個人信託」に関する講義を受講しました。株式会社朝日信託の北野康弘税理士による講義でした。

前回も記載しましたが、信託とは「委託者Aが受託者Bに対して、受益者Cのために対象財産を管理するという条件を付したうえで、Bに当該財産を譲渡する。」というものです。こうした信託制度を、個人の事情や希望に合わせて用いることで、個人の抱える、財産管理・相続・事業承継・扶養・遺留分などの問題解決に役立つ可能性がある。という内容の講義でした。

高齢化社会においては、「信託」手法によって、財産に関する様々な問題を解決できると期待されています。以下にその具体的な例を記載します。

①高齢者が将来の認知症に備えたい場合には、自分の財産を信託し管理運用を受託者に任せ、その財産からの収益を高齢者自身が享受する、という信託契約を結ぶことで、認知症となった以降の生活について準備することができます。

②高齢者に相続が発生した後の遺産分割に対しては、遺言状では相続人全員の同意によって被相続人の意思を反故される可能性があります。遺言分割を信託契約にしておけば、相続人の意思に左右されることなく、被相続人の意志を反映させる事が可能となります。

③扶養給付にも効果があります。例えば障害を持つ子供の親である高齢者には、残される子供の扶養について、相続発生後の財産管理と、その財産からの生活費の給付について、信託契約を結ぶことで、障害を持つ子供に対する生活費を準備することができます。

④リバースモーゲージの普及にも役立つと考えられます。リバースモーゲージとは、高齢者が自宅を担保に老後の生活資金を借り入れて生活資金等に当てます。この借入金の返済は、その高齢者の死後、自宅を売却する事によって完済されるというものです。この制度が普及しない理由のひとつに、高齢者の死後、自宅の売却が、相続人の意見調整が難航することで、円滑

に実行出来ない。という問題点があります。これも信託契約であれば、相続人の意思に左右されることなく、売却を実行できますので、金融機関の取組み姿勢が好転すると考えられます。

⑤相続に伴う会社の事業承継では、後継者への円滑な経営権の相続が期待できます。一定の期間株式を信託し、他の相続人の遺留分に配慮して、受託者に議決権について指図する者(後継者)と、株式からの配当を得る者(他の相続人)を信託契約で定めることによって、会社の事業承継を円滑に進める準備が可能です。

以上のように「信託」には高齢化社会における、財産に関する様々な問題を解決できる可能性があります。但し、良いことばかりを書いたようですが、法律の全てが完備された段階ではありませんので、実施の際は十分な検討と確認が必要です。

前回に続き「信託」の可能性を感じる事ができた講義でした。

## ☆☆☆ 健康コラム ☆☆☆

“全身振動マシン”に挑戦しました。

「全身がブルブルと…」の宣伝に誘われて乗ってみました。機械に立つと足元の振動板が高速に振動する事で、短時間に運動効果が得られる機械です。フィットネス倶楽部に置かれる高価なモノから、通販で扱う安価なモノ



まで、最近は色々な機種が出ています。スイッチを押すと、足元が動き出し左右の足が交互に数cm上下し、振動が始まりました。徐々に振動が高速になって、お腹の脂肪が体と離れて波打つのが感じられました。更に機械が「ブルブルブル……」と音を立てて最高振動になると、体内の腸が細かく揺すられて…思わず体に力が入ります。腸の位置が整った気分です。約10分乗りましたが、全身が汗ばんで「運動したあ～」という実感がありました。

(効果と体感には個人差があります。ご理解下さい。)

## ☆☆☆ 家族で ☆☆☆

◇子供達の運動会に行きました。

最近受験に配慮してか、小学校の運動会も春に開催することが多いようです。前日は大雨でしたが、当日は運動会日和の晴天になりました。長男は5年生ですので高度な組体操に挑戦です。複数の友達を招き寄せて体を重ねてもらい、友達の肩に立って両手をピンと広げポーズをとる姿に、思わず目頭が熱くなりました。我家では頼りなく思う面が多々ありますが、着実に成長していると実感しました。これからは子供の成長を認めた態度で接しなければと思った一日でした。(…親〇〇な話で大変恐縮です。)